

CSIの新たな取り組み

理事長 椿 康和
(国立大学法人広島大学理事・副学長)

平成17年6月25日の第37回理事会で、皆様のご推挙により前任の吉田典可先生から理事長職を引き継ぎました。微力ではありますが、CSIの運営に尽力する所存でございますので、ご支援とご協力をよろしくお願いたします。吉田先生には引き続き理事会メンバーとして運営に携わっていただいております。

さて、5月28日の通常総会では、本年度から新たに着手するいくつかの事業について計画と予算をお認めいただきました。詳しくは本号の各記事をご覧くださいと、ここで簡単に紹介させていただきます。事業規模が最も大きいのは、研究研修事業の新たな柱としての「CSIネットワークマスター虎の穴」セミナーです。このセミナーは、インターネット技術に関する人材育成や地域活性化のために、最新の技術動向や情報をこの分野の第一人者の手で地域にご提供することを目的としています。これまで実施した2回のセミナーの参加者からは高く評価していただき、来年2月には広島と高知で開催予定ですので、多くの方々の参加をお待ちしています。次に、これまでのCSIの研究開発の成果を生かすために、SuperCSI技術委員会では、本年7月に発足した「広島地域IPv6推進委員会」と連携して、地域に密着し、その特徴を生かしたIPv6の普及・定着に向け活動を開始しました。さらに、本年8月には、アジア太平洋地域におけるインターネット若手研究者の国際的な交流の場である第7回 APNGcamp(台北)に、学生2名を含む3名を派遣しました。これらの取り組みは、いずれも、地方における「技術的な練成の場」を展開し、次の世代の技術者や研究者の育成への貢献をめざすCSIの理念を実現しようとするものです。

また、草の根ボランティアによって支えられたインターネット黎明期の精神に立ち返って、CSIの活動を一層充実させようという考えから、CSIの理念・目的に合致する会員の主体的な地域貢献活動をCSIの持つ技術や資金で支援するという、新たな事業も開始しました。正会員の皆様からの企画やアイデアを広く募集しておりますので、ぜひご応募ください。

これらの新たな取り組みにあたり、多くの関係者の方々のご尽力に加え、相当な経費負担も伴いますが、地域社会への貢献という趣旨をご理解いただき、今後ともCSIの活動にご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



新理事長のプロフィール

93年の旧CSI設立から監事・運営委員として活動、運営委員長(98年度)としてNPO法人化を推進、99年のNPO法人化後は理事、副理事長(事務局長)等として法人運営にあたる。現職は国立大学法人広島大学理事・副学長(情報担当) 1953年生。

CSI役員・運営委員

理事長	椿 康和
副理事長	相原 玲二、染岡 慎一
理事	片山 博昭、小関 祐二、土肥 章裕、西村 浩二、前田 香織、前田 真理、吉田 典可
監事	石永 正隆、大場 充
運営委員	相原 玲二(委員長)、前田 香織(副委員長)、今井 一雅、上野 優香、田島 浩一、玉井 基宏 西村 浩二、野村 怜子、匹田 篤、前田 真理、松川 正義



(2005年11月1日現在)

7th APNG camp (台北)に参加して

APNG調査委員長・運営委員 匹田 篤
(広島大学 地域連携センター 助教授)

2005年8月23日から25日の3日間、台湾・台北にて第7回APNG (Asia Pacific Next Generation) Camp が開催されました。CSIからは個人会員の近堂徹君、日高良太君と私が参加し、このキャンプの持つ意義を身をもって体験しました。

APNG (Asia Pacific Networking Group) は、アジア太平洋 (AP) 地域におけるインターネットの普及活動や研究ならびに情報交換を行うオープンな組織で、その活動の一環として APNG Camp が毎年1、2回開催されています。このキャンプは AP 地域の発展と次世代のインターネット社会を担う人材の発掘・育成を目的とした会議であり、インターネットの諸問題に対して若い世代の人々が中心となって話し合い、アジア太平洋地域のネットワークの健全な発展を共に考える場として2002年の初回から数えて7回目の開催となっています。

また、フェローシップ制度を導入していることでインターネット発展途上国からの参加者支援も行われており、第7回目のキャンプでは日本・韓国・中国・台湾をはじめ、ロシア・ネパール・スリランカ・モンゴル・タイ・パキスタン・バングラデシュ・フィリピンの各国から32名の参加がありました。

会議はLocal camp report、Keynote speech、WG sessionの3つのセッションから成り立っています。各国のインターネットの取り組みや問題を知るだけでなく、お互いに語り合う場が設けられ、参加者が単なる聞き手に留まることのない工夫がなされています。同時開催のAPAN (Asia Pacific Advanced Network) に参加している AP Starメンバーとの交流も大きな刺激です。

3日間にわたるキャンプは、会議中だけでなく昼食・夕食時も共に行動し、宿泊するホテルも大多数が同じ場所に宿泊するスタイルとなっています。表面的でない本音の会話ができる理由はここにあるのかもしれません。

各国の事情を把握し、自らができることを考えそれを発表し行動に移していく。単なる学習の場ではなく、参加者のリーダーシップの意識が高まり、それが各地域の活動へと広がっていくことが、このキャンプの大きな特徴だと感じさせられました。



7th APNG camp の会議風景

このキャンプの報告を兼ねて、中国・四国インターネット協議会では本年12月17日土曜日の午後1時からに広島大学東千田キャンパスにてCSI Next Generation workshopを開催する予定です。このような取り組みが中国四国地域の人材育成につながっていくことが期待されます。

CSIネットワークマスター虎の穴セミナー報告

セミナー実行委員会委員長 松川正義
(NTTネオメイト中国)

CSIでは今年度より、地域におけるインターネット技術に関する人材育成や地域活性化を目的とした、定期セミナーを開講しております。東京等の都市と同じレベルのセミナーを地方で開催するために、第一線でご活躍されている方々を講師としてお招きしております。既に2回セミナーを開催しましたが、多くの方々にご参加いただくことができました。今年度は以下の日程で開催しますが、来年度も継続してセミナーを開催予定です。来年4月には、新入生や新入社員を対象とするようなセミナーを開催予定です。ぜひ多くの方々にご参加いただければと思います。



第1回セミナー



第2回セミナー

詳しくは <http://www.csi.ad.jp/seminar/> をご覧ください。

2005年7月21日 CSI ネットワークマスター 虎の穴 第1回(広島)

「迷惑メールの低減に向けて」

山本和彦氏(株式会社インターネットイニシアティブ 技術研究所)

2005年9月15日 CSI ネットワークマスター 虎の穴 第2回(広島)

「新任管理者のためのネットワーク設計から運用まで」

加藤淳也氏(NTT情報流通プラットフォーム研究所)

2005年11月12日 よくわかるIPv6セミナー・CSIインターネット利用研究会(広島)

2006年2月上旬 CSI ネットワークマスター 虎の穴 第3回(広島)

2006年2月上旬 CSI ネットワークマスター 虎の穴 in 高知(高知)

2006年4月 CSI ネットワークマスター 虎の穴 第4回(広島)

～ 新入社員・新任担当者向け特別セミナー ～

会員紹介シリーズ No.11

広島市立大学 (<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>)

広島市立大学は平成6年に開学し、今年で11年目の若い大学です。国際学部、情報科学部、芸術学部に加え、平成10年には広島平和研究所が設立されました。「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という建学の基本理念のもとに、教育・研究を進めています。

本学は開学後、CSIがNPO化される平成13年までのCSIのバックボーンネットワークのアクセスポイントとしての機能を果たしてきました。多い時には40を超える中国・四国地域の組織が本学に接続されて、インターネットを利用していました。広島市立大学名誉教授である吉田典可先生がCSIの理事長を長きにわたって勤められたこともあり、本学はCSIとは縁の深い大学です。

一方、学内は、開学当初から各研究室に情報コンセントを備え付けるなど情報基盤の整備に重点をおいてきました。現在まで2度の機種更新を経て、高速な学内基幹/末端ネットワークやVLANを活用して利用目的ごとに論理的なネットワークを構成し、用途に応じたQoSやセキュリティを維持できる構成に進化してきました。そして世の中の状況や時代のニーズにあわせ、語学や情報処理の教育に自学自習のできるe-learningシステムを導入するとともに遠隔講義教室を整備しました。平成17年度からは、慶応義塾大学・京都大学との3大学合同の遠隔授業を開講しています。また、履修登録や施設予約など様々な手続きをネットワーク上で処理できるようになりました。

今後も地域の大学として、引き続き、研究・教育活動を積極的に地域に展開できればと考えています。(文責:前田香織)



会員企画について 利用促進部会主査 玉井基宏（広島市立三入小学校）

CSIは、当地域におけるネットワークコミュニティの健全な発展への努力を通じて地域社会へ貢献することを目指して活動してきました。設立当初からの研究・開発、啓発・普及活動に加え、1999年10月の特定非営利活動法人(NPO)認可後は、社会教育や他のNPOの支援など活動をさらに拡大し、当地域における情報通信基盤の一層の発展に貢献することに力を注いできています。この度、CSIの新たな活動の枠組みとして、会員企画を設けさせていただきました。これは、正会員の皆様の意思に基づく社会的活動にCSIのリソースを活用していただきながら、CSIの地域貢献活動をさらに充実させていこうとするものです。CSIの理念や活動に対してご理解ご協力頂いている正会員の皆様からの企画やアイデアを広く募集しております。詳細につきましては、利用促進部会のWebページ(<http://www.csi.ad.jp/util/>)をご覧ください。

【事務局便り】

事務局からのお知らせ

CSI事務局長 染岡慎一（安田女子大学）

CSIは、10月3日付けで事務局および電話番号をNPOセンターの事務所スペースからハイオス広島に移転いたしました。CSI事務局は、昨年より非常勤事務局員による事務処理体制となり事務局員が事務所スペースに常駐しない状態となっております。今回、より経済的に電話受付代行を含めた事務局運用サービスを利用できることとなり、以前事務局を置いていたハイオス広島に事務局を移転する事といたしました。事務局の新しい住所は、〒730-0012 広島市中区上八丁堀7番1号ハイオス広島内、電話番号は082-222-9007でございます。FAXにつきましては、昨年度より利用がほとんどないため、移転を機会に廃止いたしました。電子メール(sec@csi.ad.jp)は常時チェックしておりますので、事務局へ御用の場合はできるだけ電子メールをご利用いただきますようお願い申し上げます。

なお、昨年4月よりお世話になった事務局員、山中裕美子さんは6月末日をもって退職し、10月1日より松山亜紀子さんが着任いたしました。どうぞよろしく願いいたします。

CSI会員紹介（2005年11月1日現在）

団体正会員（19組織）*50音順 <http://www.csi.ad.jp/sec/members.html#dantai>

学校法人 広島国際学院、学校法人 高知工科大学、学校法人 福山大学、株式会社 ネットスプリング、株式会社 広島市産業情報サービス、株式会社 ラディックス、呉大学、県立広島大学、高知工業高等専門学校、高知女子大学、財団法人放射線影響研究所、ネットワン・システムズ株式会社、比治山大学、広島商船高等専門学校（マルチメディア時代における教育研究会）、広島市立大学、広島大学、福山平成大学、安田女子大学、弓削商船高等専門学校

賛助会員（13組織）*50音順 <http://www.csi.ad.jp/sec/members.html#sanjo>

伊藤忠テクノサイエンス株式会社、株式会社内田洋行、株式会社エヌ・ティ・ティ ネオメイト中国、株式会社エヌ・ティ・ティ・マーケティングアクト中国、株式会社ジャストシステム、株式会社日立製作所中国支社、株式会社ミウラ、総務省中国総合通信局、株式会社エネルギア・コミュニケーションズ、中国電力株式会社、西日本電信電話株式会社広島支店、日商エレクトロニクス株式会社中国支店、日本電子計算株式会社

個人正会員（59名） <http://www.csi.ad.jp/sec/members.html#kojin>



編集後記

今回の号いかがでしたでしょうか？ 今年のCSIは巻頭言で新理事長よりご紹介がありますようにCSI発足時のよき事を継続しつつ、新たな事業を展開してきました。数々の施策を実施するにあたり関係各位には後援を頂いたり、講師の派遣等いろいろな場面でご支援、ご協力をいただきました。おかげで計画どおり遂行させて頂いた事に感謝しております。次号ではこれらの実績やCSI独自のアプリケーションのご紹介ができればと一同張り切っています。CSIが新たなネットワーク作りで地域貢献活動ができるようご意見をいただければ幸いです。(RN)

2005年11月1日 企画広報部会・広報誌編集担当 今井一雅、上野優香、土肥章裕、野村怜子